Pep Upデータに関するコラボヘルス推進にかかる覚書

関東ＩＴソフトウェア健康保険組合（以下「組合」という。）と株式会社○○○○○○○○○○○○（以下「事業所」という。）は、組合と事業所との連携（コラボヘルス）により、効率的
かつ効果的な健康増進及び健康経営を推進するため、個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号。以下「個人情報保護法」という。）第２７条第５項第３号の規定に基づき、Pep Upデータを組合と事業所で共有・活用し、健康課題の改善施策を講じる等「被保険者の健康寿命の延伸」を目的に、以下のとおり覚書を取り交わすこととする。

１．目的

組合と事業所の健康課題解決に向けた適切なアプローチを実施し、健康経営の推進及び被保険者の健康管理・維持・増進を図ることを目的とする。

２．共同推進

１の目的を達成するため組合及び事業所は、共同で実施する次に掲げる事項について、別紙「コラボヘルス推進のお知らせ」（以下「別紙資料」という。）のとおり各々の事業を推進する。

◼（１）登録状況の共有による登録・利用勧奨

◼（２）ウォーキングラリーデータの共有による健康づくりの推進

[x] （３）日々の記録データの共有による健康課題対策・支援

[x] （４）健康年齢の共有による健康づくりの推進

３．留意事項

利用目的を健康経営の推進及び被保険者の健康管理・維持・増進に限定する。

情報の取扱いについては、個人情報保護法その他の関連法令の規定に基づき十分に注意を払うとともに、別紙資料を利用し被保険者への周知を徹底する。

なお、共同して利用するデータの項目、提供方法、提供時期その他本覚書に定めのない事項については、双方協議のうえ別途定めるものとする。

４．費用負担

組合及び事業所は、各々実施する事業にかかる費用を負担することとし、別途定める場合を除き、双方の間に費用の精算は発生しない。

５．その他

1. 事業所は組合に対して、事業所管理画面の管理者アカウント作成及びデータの提供を受ける者（以下「利用者」という。）がPep Up上の被保険者の個人データを共同利用し、取り扱うことができる正当な権限を有すること、及び事業所で定め本人に通知または公表した当該個人データが利用目的の範囲内で取り扱われることを表明し、保証する。

　事業所は、上記の表明保証に反し、または適用法令に違反して利用者が当該個人データを取り扱ったことに起因して組合に生じた一切の損害を補償する。

1. 組合及び事業所は、本覚書を証とするため、２部作成し双方記名捺印のうえ各々１部を所持する。本覚書は令和　年　　月　　日より有効とする。組合及び事業所は、相手当事者に1カ月前に書面で通知をすることで、本覚書を解約することができる。

令和　年　　月　　日

関東ＩＴソフトウェア健康保険組合　　　　　 　○○○○○○○○○○株式会社

常務理事　近藤　紀一　㊞　　　　　 　　代表取締役　○ ○ ○ ○　㊞